

住みよいまち加東

発行 加東市 〒673-1493 加東市社50 ☎0795-42-3301 <https://www.city.kato.lg.jp>
編集 秘書室 〒673-1493 加東市社50 ☎0795-43-0387





加東市について

人口 40,374 人 世帯数 17,514 世帯 面積 157.55 km²

人口・世帯数は、令和3年2月末日時点の住民基本台帳数です。

兵庫県中央部やや南よりに位置する加東市は、平成18年3月20日、社町、滝野町、東条町の3町が合併し、誕生しました。瀬戸内型気候の特色を備えており、四季を通じて、比較的温暖な気候に恵まれています。

市内には、東西に中国縦貫自動車道が走り、ひょうご東条インターチェンジと滝野社インターチェンジの2つの玄関口を有し、阪神地域と直結しています。また、国道175号、国道372号が南北を繋げているなど、加東市は物流をはじめとする交流の拠点となっています。

各地域においては、多様な文化、伝統が継承されているほか、東条湖、闘竜灘をはじめとする様々な名所があるため、多くの観光客が加東市を訪れています。

加東市民憲章

わたしたちは、美しい自然・豊かな文化・あたたかな人々を誇る

加東の市民として、この憲章を定めます。

- 一、人と自然を愛し、安らぎのあるまちにしましょう。
- 一、学ぶ心を大切にし、文化あふれるまちにしましょう。
- 一、喜びをもって働き、健やかなまちにしましょう。
- 一、誰もが希望をもてる、明るいまちにしましょう。

平成23年3月20日制定



加東市の市章は、人と自然が息づくまち・加東市の頭文字「K」を、合併した3町の数に合わせて配し、図案化したものです。豊かな自然と共生する人々と、伸びやかで活力に満ちたふれあいの田園都市を表しています。



市の花 コスモス



市のマスコット 加東伝の助



市の木 さくら

- 加東市15年の歩み -

平成18年

- 3月 加東市が誕生
- 8月 「かとう安全安心ネット」開設
- 9月 加東市誕生記念式典を開催
- 10月 兵庫教育大学と連携協力に関する協定を締結
のじぎく兵庫国体<アーチェリー競技会>を開催
ファミリーサポートセンター開設

平成19年

- 10月 「世界に一つ！加東遺産」(10箇所)を選定
3か月で3kgやせる市民大運動「加東サンサン
チャレンジ」開始

平成20年

- 3月 第1次加東市総合計画を策定
- 4月 市の花「コスモス」・市の木「さくら」を決定
市の音頭「加東よしよし音頭」・応援歌「勇躍加東」完成
市内全域でケーブルテレビ放送を開始
市学校給食センターが「兵庫県食品衛生管理プログラム」に認定
- 7月 公立社総合病院を「加東市民病院」に改称
夏季巡回ラジオ体操を開催
- 11月 市マスコット「加東伝の助」が誕生

平成21年

- 7月 兵庫県立人と自然の博物館と協力協定を締結

平成22年

- 3月 加東伝の助のテーマソング「ぼく、伝の助！」完成
- 12月 産学公人材イノベーション推進協議会に加入

平成23年

- 3月 「やしろこどものいえ・わくわく棟」完成(増築)
「加東市民憲章」制定
- 4月 加東市制5周年記念式典を開催
「あったか加東伝の助かるた」完成
北はりま消防本部発足(加東市、西脇市、加西市、多可町)
- 8月 アメリカ合衆国ワシントン州オリンピア市姉妹都市提携30周年記念協定書調印
- 11月 忠臣蔵にゆかりのある全国の自治体が集まる「忠臣蔵サミット」を開催
- 12月 市と兵庫教育大学が中心となり、「輝く加東まちづくりコンソーシアム」を設立

平成24年

- 3月 「星の里公園」完成
- 10月 自主運行バス「米田ふれあい号」が運行開始
国宝朝光寺本堂の保存修理完了

平成25年

- 3月 第1次加東市総合計画後期基本計画を策定
アフタースクール専用施設「東条東げんきクラブ」完成
- 4月 かとうまちかど体操教室事業を開始
- 6月 県内初の「日本酒による乾杯を推進する条例」を制定
- 8月 家庭ごみ排出量の少なさで県内1位を達成
- 12月 市役所新庁舎完成

平成26年

- 5月 自主運行バス「きよみずバス」が運行開始
- 11月 加東サンサンチャレンジが厚生労働省の「第3回健康寿命をのばそう！アワード」で県内初の自治体部門優良賞を受賞
近畿初の「手話言語条例」を制定

平成27年

- 3月 市の最高峰の愛称が「加東神山」(かとうこやま)に決定
- 9月 公共施設の適正化に関する計画を策定
- 10月 加西市と共に西脇市・多可町と北播磨広域定住自立圏形成協定を締結
- 11月 病児病後児保育施設「かとおこ」完成

平成28年

- 3月 加東市制10周年記念式典を開催
加東市人口ビジョン、第1次加東市総合戦略を策定
- 11月 11月24日を「かとう和食の日」に設定

平成29年

- 3月 防災行政無線の運用を開始
南山活性化支援施設「Mina-Kuru(ミナクル)」完成
公共施設等総合管理計画を策定
- 4月 市ケーブルテレビ事業を民間事業者との協業体制に移行
- 5月 加古川河川改修築堤工事に着手
- 6月 発達サポートセンター「はびあ」開設
- 9月 加東のお酒「勝とう酒」が誕生

平成30年

- 1月 東条福祉センター「とどろき荘」の改修工事完了
- 3月 加東消防署新庁舎完成
第2次加東市総合計画、第2次加東市総合戦略を策定
加東市人口ビジョンを改訂
- 9月 「部落差別の解消の推進に関する条例」を制定
多摩美術大学美術館で、加東市×多摩美「特別展 仏人 心願の地」を開催
- 12月 「犯罪被害者等支援条例」を制定

平成31年・令和元年

- 2月 「河高地区安取雨水ポンプ場」完成
- 3月 「加東みらいこども園」完成
- 4月 大塚製薬株式会社と連携協力に関する協定を締結
市内ごみ処理体制を一元化(滝野地域のごみ処理を小野クリーンセンターへ移行)
自主運行バス「とうじょうあいあいバス」が運行開始
- 5月 播州清水寺を含む「西国三十三所観音巡礼」が日本遺産に認定
- 7月 株式会社マルヤナギ小倉屋と連携協力に関する協定を締結

令和2年

- 3月 旧東条庁舎跡地にドクターヘリ離着陸場完成
- 4月 子育てスマイル交付金支給事業(5歳までの児童1人当たり年額3万円)を開始
- 7月 滝見橋が完成し、都市計画道路「滝野梶原線」が全線開通
- 8月 ルートインジャパン株式会社と宿泊施設誘致事業に係る基本合意協定を締結

令和3年

- 2月 「感染症の患者等の人権擁護に関する条例」を制定
- 3月 加東アート館を開館



歴史・文化

上鴨川住吉神社神事舞（国指定重要無形民俗文化財）

上鴨川住吉神社に奉納される舞。中世の田楽や猿楽に由来する形態を色濃くとどめています。毎年、10月の第1土曜日、日曜日に宵宮と本祭が2日間をかけて行われ、境内には多くの見物客が訪れます。

＼1300年つづく日本の終活の旅／

西国三十三所観音巡礼

第二十五番札所 播州清水寺

No.25



文化庁が認定する日本遺産は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて、文化・伝統のストーリーを語るうえで欠かせない魅力あふれる有形・無形の様々な文化群を地域が総合的に整備・活用し、地域の活性化を図ることを目的にしています。

令和元年度に、「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」が日本遺産に認定されました。播州清水寺は、第二十五番札所にあたります。また、春は桜、秋には紅葉と、景観地としても、圧倒的な人気を誇ります。

- Information -

上鴨川住吉神社神事舞

宵宮：10月の第1土曜日

本祭：宵宮の翌日

朝光寺鬼追踊

5月5日

秋津百石踊り

4月29日



朝光寺鬼追踊

兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている「朝光寺鬼追踊」は、国宝朝光寺本堂前で五穀豊穡・無病息災などを祈願して、毎年5月5日に奉納されています。

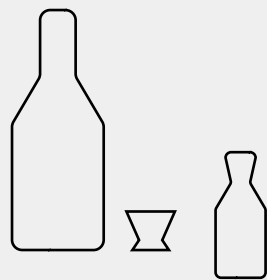
踊りは翁1人と鬼4人（赤鬼・青鬼・黒鬼・黄鬼）が、それぞれ松明や太刀・斧・錫杖等のとりものを振り回しつつ、鐘の音に合わせて飛び跳ねながら踊りまわります。踊りの所作は素朴ですが、非常に勇壮で迫力のあるものとなっています。



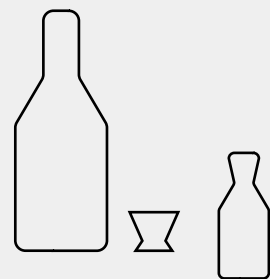
秋津百石踊

兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている「秋津百石踊」は、早魃時に最期の望みを託して奉納されたという雨乞い踊りです。1度の開催に米百石分の費用が必要であったことから、その名がついたといわれています。

1か月以上も炎天が続き、降水量が極めて少なかった嘉永6（1853）年に奉納したところ、大雨や夕立が続くようになり、稲田が甦ったといわれています。



山田錦のふるさと



大粒で心白が大きく、「酒米の王者」として名高い山田錦。加東市内は、階段状の水田で排水が良く、しかも粘土質の土壌であること、昼夜の寒暖差が大きいことなど、山田錦の栽培に適した環境に恵まれているため、最高品質の山田錦が生産されています。

加東市内で生産された山田錦は、全国の酒造会社に出荷されています。

産地と酒造会社との結びつき



山田錦の田植えが始まると、市内では酒造会社の幟が風に揺れる光景が見られます。これは、その地域のほ場で栽培された山田錦が特定の酒造会社に出荷されていることを示しており、地域と酒造会社により築かれた信頼関係の証です。

山田錦の起源と加東市

山田錦の研究は、大正12年に県立農事試験場（明石市）で始まりしました。山田穂を母、短稈渡船を父として人工交配し、選抜、固定を行い、昭和6年に「山渡50-7」の系統名をつけて品種比較試験を行いました。昭和7年から酒造米試験地（現酒米試験地：加東市沢部）においても品種比較試験が始まり、酒造米試験地の初代主任である藤川禎次氏は、酒米研究が確立されていなかったなか、耐病性や収量性などの研究を重ねました。昭和11年には、同種は「山田錦」と命名され、兵庫県の奨励品種に指定されました。

誕生後、85年以上経過してもなお、酒米の王者として、全国の酒造会社で日本酒の原料として重宝されています。

加東市産山田錦の里帰り

加東市産山田錦が日本酒となって里帰りする加東市「山田錦」乾杯まつりを、毎年9月に開催しています。

加東市の大地の恵みと、各酒造会社の醸造技術により生み出された銘酒の数々を堪能いただけます。



加東市「山田錦」乾杯まつり2019参加酒蔵集合写真

加東市 「山田錦」乾杯まつりでは、日本酒と一緒に楽しめるグルメも販売。「買って、乾杯して、味わって」の3つを一度に体験いただけます。

加 東 の 学 び

ICT教育の推進

児童・生徒1人1台のパソコンを整備しています。自らの学習状況に応じて学習を進めることができるデジタルドリル教材や協同学習用のアプリケーションを活用し、一人ひとりの力を確実に伸ばし、「だれ一人取り残すことのない」学習支援を目指します。

また、児童・生徒の情報活用能力を向上させるため、パソコンを用いたプレゼンテーション活動やプログラミング教育も実施しています。



英語教育の推進

外国人と英語で臆せずに話することができる力の育成を目指し、市立小中学校に外国人英語指導助手(ALT)を配置して、英語でのコミュニケーションを重視した授業を行っています。

小学校では、英語の読み書きの基礎となる力を育むため、「ジョリーフォニックス」を小学2年生から導入しています。また、小学6年生を対象にスコア型英語4技能検定「GTEC Junior」を実施し、その結果を小学校の授業改善や中学1年生の英語指導に活用しています。

中学校では、加東市独自の取組として、オリジナルのLESSONBOOKの活用やスピーキングテストを取り入れた「かとう英語ライセンス検定」、検定料の負担なく実用英語技能検定に挑戦(年1回)できる「英検チャレンジ事業」、オールイングリッシュの英語活動「加東わくわく英語村」を実施しています。



※ジョリーフォニックス

ひらがなを習い始めたときのように、英語の「文字」と「音」との関係を学び、自分の力で英語の読み書きができるようにする指導方法の一つ

学び始める。学び続ける。生涯教育

子どもから大人まで、学ぶ喜びは一生涯のものです。青少年を対象とした地域子ども教室、成人を対象とした成人学習事業、および高齢者大学など、様々な世代に向けた生涯学習事業を推進しています。

また、地域で活動する社会教育団体等への支援を通して、芸術・文化・スポーツの振興を図っています。

誰もが仲間と楽しく学び活動できる、学習成果を発表することができる場を設けるとともに、自らの経験の中で培ってきた技術や知識を、誰かの学びに活かすことができる機会も提供しています。



一人ひとりの成長に応じた質の高い教育・保育

市立認定こども園、保育所を段階的に集約するとともに、私立の認定こども園、保育所の運営、および施設整備を助成し、幼児教育・保育環境の充実を図っています。

また、教育・保育の質の向上のための研修を実施し、保育教諭等のスキルアップを図るとともに、幼児期に「やさしさ」、「思いやり」の心を育み、「違いを違いと思わない」絶対人権感覚を培うための「人権啓発プログラム」を実施しています。



小中一貫教育の推進



東条学園小中学校(イメージ)

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、教育課題が多様化するなか、義務教育の9年間を通してつながりのある教育を行うことが必要です。

加東市では、小中一貫教育を推進し、各教科をはじめ、運動会や文化祭などの学校行事、道徳等の教育活動すべてにおいて、小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動を行うことで、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもの育成を目指しています。令和3年4月には東条地域で市内初となる小中一貫校を開設し、順次市内に展開させていきます。

未来を切り拓く子どもを育む小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～

①「確かな学力」の育成

9年間の系統性・連続性のある教科カリキュラムを基に、学びのつながりを意識した授業を行います。また、家庭学習の習慣化に向けた取組やICT機器を活用した学習活動を充実するとともに、英語教育により、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育みます。

③「豊かな心」の育成

多様な体験活動や道徳教育の充実を通して、豊かな情操や道徳心を培います。また、発達段階に応じた人権教育を充実させ、多様性を認め合う心を育成するとともに、防災教育を通して、自らの生命を守る主体的な行動をとる力や、助け合い、ボランティア等、共生の心を育成します。

②夢や志を持ち挑戦する力の育成

系統性のある進路学習や体験活動を通して、将来の自己の在り方や生き方を考えられるようキャリア教育を充実します。また、ふるさと学習「かとう学」や、地域社会との関わりを通して、ふるさとを愛し、地域へ貢献する意欲を育てます。さらに、学年や校種を越えて活動することで、集団の中で主体的に活動し、協働して物事に取り組む姿勢を育みます。

④「健やかな体」の育成

様々な遊びやスポーツを体験することで、9年間を通じた体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたって心身の健康を保持し、豊かな生活を送る基礎を育みます。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるよう食育を推進します。

加東市のお出かけスポット



道の駅とうじょう



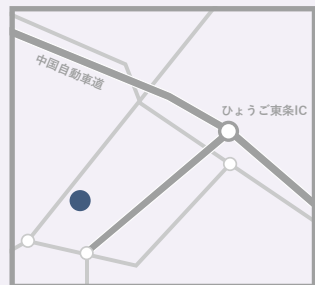
加東の特産品が集う場所

道の駅とうじょう

ひょうご東条インターチェンジに隣接する「道の駅とうじょう」では、地元で採れた新鮮な野菜や、釣り針をはじめとする加東市の特産品が販売されているほか、レストラン等も併設され、おみやげの購入や休憩場所に最適です。

また、自転車を立てかけるスタンドも整備されており、加東市内を自転車で散策している途中でも気軽に立ち寄ることができます。

1年を通して、空を泳ぐ鯉のぼりが目印です。加東市への旅の玄関口といえる「道の駅とうじょう」。ぜひ、お越しください。



☎ 0795-47-2400

🕒 9:00-18:30

※土日祝日は19時まで

1、2月は全日18時まで

※電話番号等は特産館



やしろ鴨川の郷

やしろ鴨川の郷

眼前に広がる雄大な山々と、そよぐ緑の風。季節ごとに様々な顔を見せてくれる「やしろ鴨川の郷」は、宿泊施設、グラウンドゴルフ場、テニスコートを備えるほか、文化教室も開催するなど、多様な楽しみを提供しています。

☎ 0795-45-0111

🕒 8:00-21:00

📅 第2木曜(8月を除く)、
年末年始



コテージ

滝野温泉ぽかぽ

加東市内の名所をモチーフとしたお風呂が楽しめます。泉質は、カルシウム・ナトリウムなど、太古の海水のミネラルを豊富に含む塩泉です。お湯に身をしずめると体の芯からじんわり温まり、入浴後の保温効果に優れています。

☎ 0795-48-1126

🕒 11:00-21:00

📅 第2・4水曜

※祝日の場合は営業



山の湯 洞窟風呂



滝野温泉ぽかぽ



東条湖

東条湖

静かに水をたたえる東条湖。湖の周囲を囲うように道があり、のんびりと語り合いながら散歩するのに最適なスポットです。

「加東市花火大会」の会場でもあり、全国から見物客が訪れます。



闘竜灘

闘竜灘

清流加古川の川幅いっぱいに奇岩・怪岩が起伏し、落水の豪快なリズムと四季折々の水模様に魅了されます。また、2頭の竜が闘う姿に似たことで、この名が付き、飛び鮎の名所としても有名です。毎年5月1日には日本一早く鮎漁が解禁されます。

サイクリングで楽しむ

加東市

加東市には、平坦で走り心地のよい道や、坂の多い山道、水辺の涼しげな道など、多彩なコースがあり、サイクリングに最適です。

サイクリングでしか味わえない加東市の魅力を、ぜひお楽しみください。



＼＼滝野にぎわいプラザ内の加東市観光案内所で無料配布／／

- ポケットサイズ「加東市サイクリングマップ」 -

表



表面は、レジャースポットやフォトスポット、走行時の注意箇所などを掲載。初めて加東市を訪れる方にもわかりやすいサイクリングマップです。

↑



15 cm

約8cm

※見開き時はA1サイズ

裏



裏面では、おすすめの観光・グルメスポットを紹介。気になるスポットがありましたら、ぜひお立ち寄りください。

サイクリングの拠点「滝野にぎわいプラザ」



滝野にぎわいプラザでは、サイクリングの情報を掲示したり、メンテナンスツールを貸し出したりしています。また、休憩スペースは無料で利用いただけるほか、飲食店ブースもありますので、気軽に立ち寄ってリラックスすることができます。

さらに、クロスバイク、ロードバイク、Eバイクのレンタルも可能ですので、本格的なスポーツバイクでサイクリングを楽しみたい方は、ぜひご利用ください。

☎ 0795-48-0995
🕒 9:00-17:00
📅 水曜

＼＼加東市の新たな魅力／／
見て、撮って、学べる、参加型の美術館

加東アート館



トリックアート



トリックアートとは、目の錯覚を利用した美術技法や、その技法を用いた作品のことです。

加東アート館では、トリックアート作品に触って遠近感を確かめたり、作品に乗って写真を撮ったりして楽しむことができます。

トリックアートやスマートフォンアプリを用いたAR(拡張現実技術)による映像を楽しめる美術館です。

展示テーマは定期的に更新し、新しい作品と出会うことができます。

※写真撮影時(令和3年3月)の展示のテーマは、「未知なる深海の世界」。

AR映像



A Rとは、実在する風景などに視覚情報を重ねて表示する技術です。

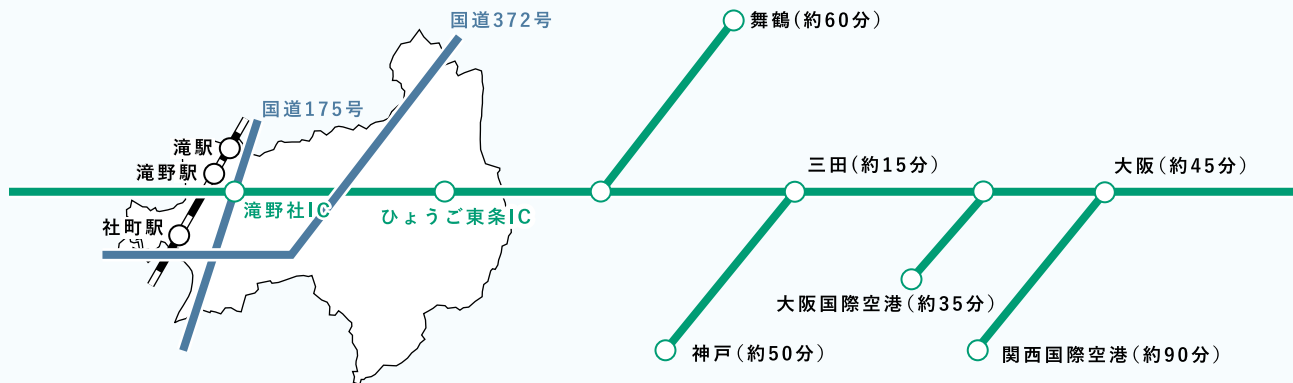
加東アート館で、専用アプリをインストールしたスマートフォンをAR対応の作品にかざして見ると、絵が動いたり、飛び出したりする映像をお楽しみいただけます。



☎ 0795-48-4915
🕒 10:00-18:00(最終入場17:30)
📅 水曜(祝日の場合は開館)、年末年始
¥ 中学生以上440円 小学生220円
※未就園児は無料

加東市の交通

市民のみならず加東市を訪れる方、誰もが
必要とする交通網。移動の利便性だけでなく、
産業・観光も支える重要な「資源」です。



中国縦貫自動車道や国道175号、国道372号が縦横に走り、2つのインターチェンジ、3つの鉄道駅を有す加東市内。充実した交通網が加東市の産業を支えるとともに、「加東市への玄関口」となっています。

これらの交通網を活用し、市内には電車や路線バス、高速バスが運行しています。さらに、市が運行する加東市自家用有償旅客運送や乗合タクシーが、身近な移動手段として、市民のみなさんの日常を支えています。



高速バス



国道175号

加東市自家用
有償旅客運送



加東市では、バス事業者による路線バスが運行されていない地域において、地域のみなさんとの協働のもと、加東市自家用有償旅客運送事業（米田ふれあい線・きよみず線・とうじょうあいあい線）を展開しています。また、令和3年4月から新たに「福田ふく・ふく線」を開設するなど、買い物や通院などの移動が難しい高齢者等の生活交通手段の確保に努めています。

令和4年10月供用開始予定

加東市バスターミナル

加東市では、新たな交通結節点を創出するため、「やしろショッピングパークBio」に隣接したバスターミナルの整備に取り組んでいます。

バスターミナルの整備により、路線バスや高速バス、タクシー等の利便性が向上し、人の流れが活発になることで、市中心部の活性化と交流人口の増加が期待されます。



きよみずバス運転手
北山道徳さん

地域のみなさんの役に立ちたいという
気持ちで運転手をはじめました。バスを
利用する方々からの「ありがとう」の言
葉のひとつひとつが「励みとやりがい」
です。

また、バスを利用する地域のみなさんが元気にしているかなども分かり、見守りにもつながることも嬉しいです。



バスターミナル(イメージ図)

移住・定住

加東市がサポート

木々が静かに風に揺れる音が聞こえるのんびりとした風景と、玄関口となるインターチェンジ2か所を有し、車が絶えず行き来する活気ある風景を兼ね備えている加東市。

そんな加東市で暮らしてみませんか。加東市では、「加東市で暮らしたい」みなさんをサポートしています。

加東市結婚新生活支援事業



30^{最大}万円

加東市で新生活を始める39歳以下の新婚世帯の住居費や引っ越し費用の一部を補助します。

加東市働く世代住宅取得支援事業



50^{最大}万円

39歳以下の「働く世代」の住宅取得費を補助します。市外から加東市内に引っ越し、新たに住居を取得する方も対象です。

仕事探しをサポート



加東市では、仕事探しのお手伝いをする「就労支援室」を設置しています。就労支援室では、「仕事探し」に関する相談に応じるほか、求人情報を提供したり、就職活動のアドバイスを行ったりするなど、様々な方法で「仕事探し」をサポートしています。

■就労相談

就労に関する様々なお悩みをお聞きして、仕事の探し方についてアドバイスします。

■履歴書などの書き方、面接対策

履歴書などの書き方や、面接について企業側の視点を踏まえながらアドバイスします。

■ハローワークの活用方法

求職申込書の作り方、パソコンでの求職検索の方法、職業相談の利用方法など、ハローワークの活用方法についてアドバイスします。

定住・移住総合相談窓口

「加東市に移住したい！」と思っても、まずは何から始めればいいのかかわからない！

そんなときは「定住・移住総合相談窓口」へご相談ください。

☎まちづくり創造課 ☎0795-43-0507



加東市に移住した方々の感想をご紹介します！



牛飼勇太さん（芦屋市から移住）

大阪や神戸などに、高速バス1本で行けたり、食料品店や量販店が充実していたりして、不便のない田舎暮らしができています。

また、市内でシェアハウスを運営していますが、地域のみなさんも快く受け入れてくださり、温かくおおらかな人が多いまちです。

子育ての面では、都会とは違い、自然のなかで自由に駆け回ることができるので、とても良い環境です。

中村健一さん（大阪府から移住）

もともとは、大阪府に住んでいましたが、両親が「定年を機に田舎で暮らしたい。そして、移住先で店を開きたい」と考えていたことから、家族で加東市に移住しました。

お店には幅広い年代の方が訪れますが、気軽に話しかけてくれるなど、人に恵まれた地域だと、日々感じています。

加東市は、のんびりと暮らしたいご年配の方におすすめです。また、自然もたくさんあるなど、子育ての環境が整っているため、子育て世代にもおすすめのまちです。



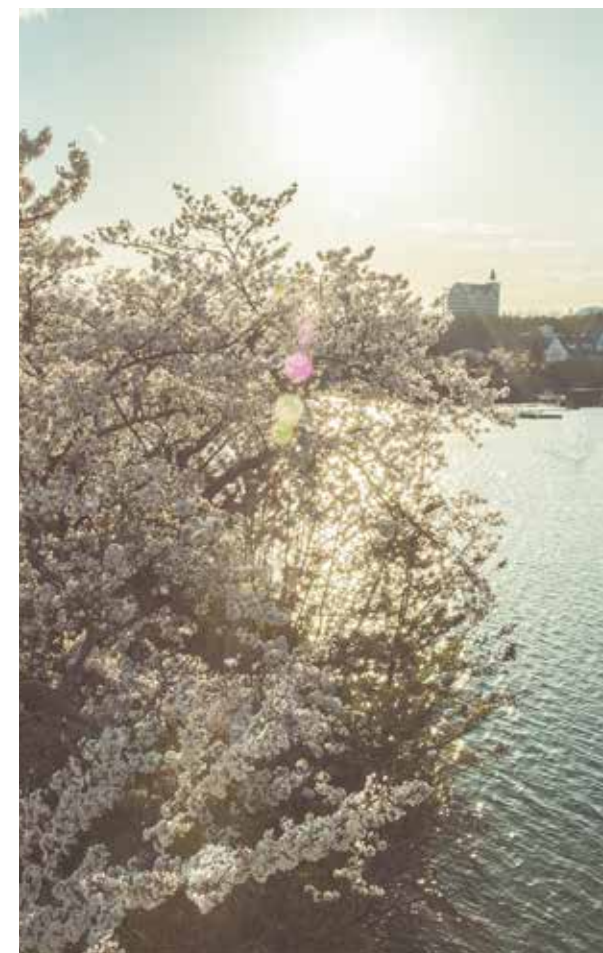
◀◀ほかに8人の移住者からの感想をお聞きいただけます！

加東市ホームページ>各課のご案内>まちづくり政策部>まちづくり創造課>地域創生係
>定住・移住情報サイト>かとうとかどう？～加東に暮らす人の声～



関西随一の桜処

加東市の市の木は「さくら」。春の訪れとともに市内はたちまち桜色に染まります。凛として花を咲かせるその様子は協調と活力を感じさせてくれます。



表紙は東条側沿いの桜並木

1	3
2	4

1. 東条湖 2. 播磨中央公園
3. 千鳥川桜堤公園 4. 東条川
沿いの桜並木